

PM2.5とナノ粒子 —微小粒子の健康影響とその対策を考える—

日時：2014年9月6日（土）13:15~17:00

会場：日本学術会議講堂

主催：日本学術会議トキシコロジー分科会

共催・協賛：日本薬学会、日本化学会、日本毒性学会、他

■プログラム

<挨拶> 橋田 充 日本学術会議会員トキシコロジー分科会担当（薬学委員会委員長）
山添 康 トキシコロジー分科会委員長

<講演1> 座長 吉岡 敏治（大阪府立急性期総合医療センター）、姫野 誠一郎（徳島文理大学）

「大気微小粒子の健康科学—PM2.5の健康影響および対策は」
内山 巖雄（京都大学）

「ディーゼル排ガス微粒子及びナノ材料の次世代への健康影響」
武田 健（東京理科大学）

「吸入全身暴露を基軸としたナノ材料の毒性評価体系の構築とMWCNTからの知見」
菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所）

<講演2> 座長 赤堀 文昭（麻布大学）、武田 健（東京理科大学）

「労働衛生の立場から—ナノ材料を扱う職場での管理」
森本 泰夫（産業医科大学）

「経済産業省におけるナノ材料安全対策について」
藤沢 久（経済産業省 製造産業局化学物質管理課）

「微小粒子・ナノ材料の健康リスクにどのように向き合うべきか」
岸本 充生（東京大学公共政策大学院）

<パネルディスカッション>

コーディネーター：上田 昌文（市民科学研究室）、梅澤 雅和（東京理科大学）

パネリスト：内山 巖雄、武田 健、菅野 純、森本 泰夫、藤沢 久、岸本 充生

<閉会挨拶> 姫野 誠一郎（徳島文理大学）

■オーガナイザー：姫野 誠一郎（分科会幹事）、武田 健（分科会幹事）

■会場：日本学術会議講堂（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口1分）

■参加費：無料

■参加申込方法：シンポジウム開催告知ページ

（http://www.rs.tus.ac.jp/env-health/meeting/140906_sympto.html）
より8月25日(月)までにお申込みください。

■事務局：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

■問合せ先：東京理科大学 総合研究機構 戦略的環境次世代健康科学研究基盤センター
梅澤 雅和

<E-mail> jisedaiken@rs.tus.ac.jp